

2001年にスタートした狛江水辺の楽校は、開校20周年を迎えました

開校20年で、のべ65,000人をこす子どもたちが多摩川体験

2001年(平成13年)4月、多摩川流域の第一号として国から登録認可された狛江水辺の楽校は、2021年4月で開校20周年を迎えました。右下の表にあるように、これまでにのべ65,585人の子どもたちが多摩川を体験してきました。

ご存知のように狛江水辺の楽校は、湧き水や小川、池、雑木林、オギ原、化石島など、変化に富んだ自然と景観を残す、狛江市民

の共有財産ともいえる貴重な水辺空間です。狛江市ではこうした自然環境を維持・保全して、子どもたちの教育の場として活用できるように、学校や市民と協働で「狛江水辺の楽校運営協議会」を設け、多摩川の管理・運用に取り組んでいます。

木のぼり、ブランコ、ハンモック、ガサガサなどの自然体験教室

主に保育園や小学校からの依頼を受けて行う自然体験教室にはさまざまなメニューがあります。子どもたちに人気があるのは、

魚やザリガニを網ですくうガサガサ体験や樹にぶら下げたブランコ、ハンモック、そして木のぼり体験などです。

また夏になるとライフジャケットを着て、川でおぼれそうになった時の対処法を学ぶ安全体験教室も指導しています。依頼のさいに、体験内容を申し込んでください。

植物、野鳥、昆虫、魚類、化石、水質などを調べる環境学習

自然豊かな水辺の楽校では、植物や野鳥、昆虫、魚類、化石、

水質などテーマにそった環境学習を選ぶことができます。それを指導しているのが、マイスターと呼ばれる市民ボランティアです。

毎週日曜日に、自由参加の環境清掃や自然再生活動を開催

毎週日曜日、朝10時～12時は環境清掃。たくさんの親子ボランティアが参集し、草を刈って観察路をつくったり、丸太橋をつくり直したりしています。また昆虫や魚の産卵床をつくるなど自然の再生活動にも取り組んでいます。

自然体験教室



魚やザリガニを網ですくうガサガサ体験教室



木のぼり体験



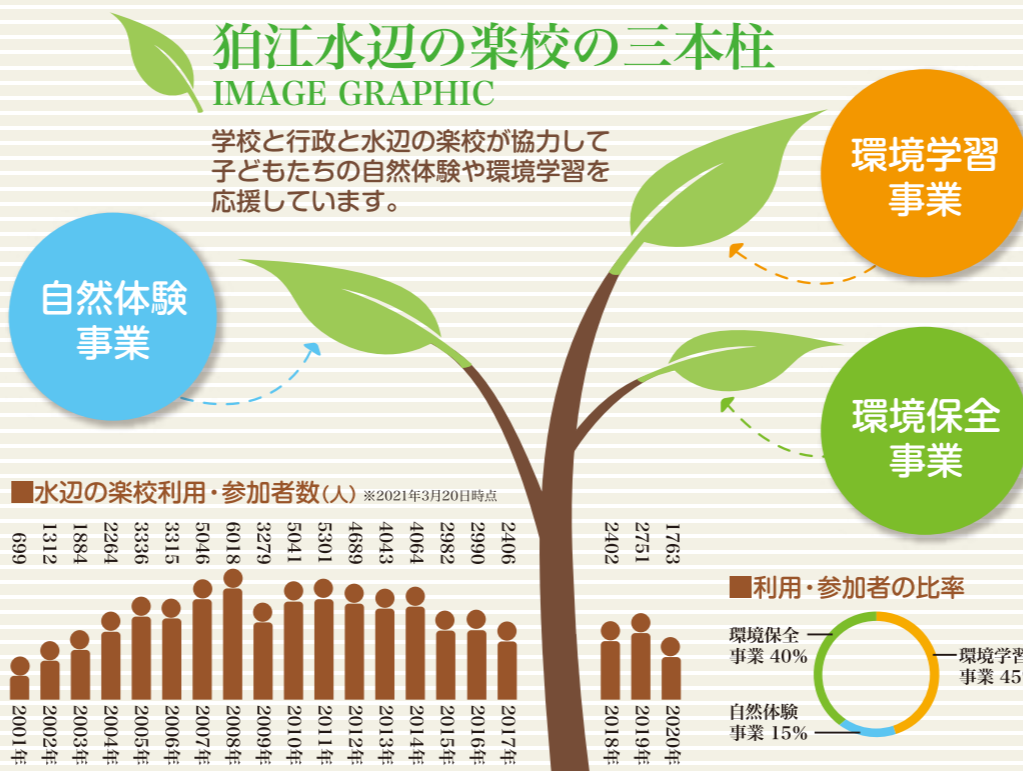
ハンモック体験



ブランコ体験



おぼれそうになった時の対処法を学ぶ川の安全体験教室



学校・教育関係者の理解

自然体験や学びを通して情操や創造性を育む“人間教育の場”として理解活用

国と狛江市の行政支援

京浜河川事務所(国)と狛江市環境政策課が水辺の楽校事業を強力にバックアップ

市民ボランティアの活躍

50名をこす市民が、自然体験や環境学習の講師としてボランティア協力

環境保全・自然再生活動



外来植物アレチウリの駆除活動



川魚を増やすための産卵床づくり

環境学習



専門知識を持つ市民ボランティアが環境学習のお手伝いをしています



植物調べ



野鳥調べ



昆虫調べ



魚類調べ



水質調べ



化石調べ



環境学習の締めくくりは、調べたことをみんなに紹介する青空発表会

※狛江水辺の楽校の自然体験教室や環境学習を申し込む際は、事前に市民事務局(☎5761-2844/竹本)と日程や内容を調整の上、環境政策課に水辺の楽校使用届けを提出してください。※毎週日曜日に行っている環境清掃は予約なしの自由参加です。随時、生きもの観察会も開催。お気軽にご参加ください。